

こんにちは

白子の議会

です

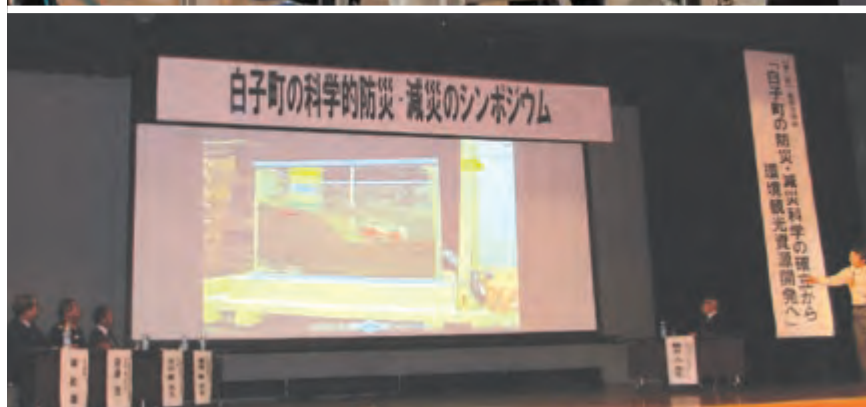
第106号

平成24年11月15日

編集発行

千葉県白子町議会

☎ 0475(33)2169



10月28日に開催された津波避難訓練及び防災シンポジウム

第3回定例会

平成24年第3回定例会が9月19日開催されました。
一般質問は、3名の議員が町政をただしました。

3議員が一般質問2～4ページ

条例改正等質疑応答5ページ

こんなことが決まりました6ページ

一般質問

町政をきく

津波避難マップについて

宗島理仁議員

議員 津波避難マップは、どのように周知・配布をするのか伺います。

周知の徹底を行う

町長 津波避難マップの周知、配布の方法として、各戸配布あるいはホームページの公開は行うつもりです。
その他、公共的な施設として、開業医の待合室や郵便局に置く予定です。



避難訓練について

議員 効果的な避難訓練を実施するために、昨年の反省をどのように活かし、今年の避難訓練に反映させていくのか伺います。

昨年の反省を踏まえ検討する

町長 先日、医師会や消防、ホテル組合などの代表の方に集まっていただき、昨年の反省を踏まえ、検討をしました。
また、新たに携帯電話のエリアメール・緊急速報メールの訓練送信などを取り入れていければと思っています。

災害に強い情報連携システムについて

議員 災害に強い情報連携システム構築事業が予算化、事業化されているが、具体的な内容を伺います。

迅速かつ正確な情報提供

町長 主な事業内容として、まず緊急情報の一括配信を行えるシステムを構築します。
また、テレビ等を通じて情報収集されている災害の注意報や警報を町で

一元的に集約管理し、その情報をインターネット上で地図情報として展開して、目で見やすく情報を提供行えるシステムを構築しようとしております。

ライフジャケット導入について

議員 津波、水害対策用として救命胴衣、ライフジャケットの導入の考えがあるのか伺います。

実施に向けて検討中

町長 ライフジャケットについては、情報収集して検討しているところであり、防災基金等を積み上げてきてありますので、小中学生、保育所あるいは消防団に対してはどのようなライフジャケットにするか検討しております。

観光客の入込数について

議員 観光客・海水浴客の入込数は震災以前と比べてどのような結果だったのか伺います。

震災以前に戻らず

教育長 震災以前の一年は5万7千人の海水浴客が訪れました。昨年と比較すれば、11%増であり、45%減になっております。



観光振興について

議員 有料道路の往復交通券6千枚の配布について実績とその効果、そして今後の展望を伺います。

課題が残る

町長 有料道路の通行券は6千枚すべて配布をしましたが、配布が遅くなり、夏休みの期間に来訪したお客さんになかなかタイミング良く通行券が配布できなかったという課題があります。

議員 観光振興・観光客の呼び戻しの一環といたしまして、観光ガイドブックの作成の計画を予定しています。



防災・通学路の安全・医療費適正 対策について

東海林東治議員

議員 6月定例会の答弁では、防災教育の啓発活動、防災知識の普及等を積極的に行い、講演会等の回数を増やし対策を検討するとありましたが、具体的にどのような事が行われたか伺います。



学校での防災訓練

学校での安全教育と
防災での共助の大切さ
町長 防災教育の充実を図る上で各学校での災害安全・生活安全・交通安全

全と3つの領域で災害対策訓練を実施し、更にはワンポイント訓練、事例をいかしたDVDの活用、防災シンポジウムの開催をしております、各自治会には自主防災組織の設置推進を呼びかけています。

通学路の安全 対策について

議員 緊急合同点検等実施要項での点検は終わっているか。次に通学路の点検内容は細部に亘る内容になっているか。次に危険箇所の抽出は何ヶ所、その対策メニュー案は出ているか。次にスクールゾーンの設定の推進を考えているのか。又、自転車通学の生徒に対して通行空間の整備は考えているのか伺います。



生徒の通学風景

通学路の 安全確保が大事

町長 茂原警察署、長生土木事務所、町建設課、教育委員会とで各学校の合同点検を実施しました。交通危険箇所は23ヶ所あり、対策済が3ヶ所、対策予定箇所11ヶ所、対策未定箇所9ヶ所です。通学路の表示板は必要ないと思います。又、スクールゾーンの設置計画はありません。自転車の通行は本来は車道です。安全に走るかは中学校で教育しているはずですが。

医療費適正化の実現 に向けての対策は

議員 国保税の収納率の低下と医療費の増加抑制は町にとっても大きな課題です。

町では定期的に健康診断を行っています。人間ドック契約機関の充実と更なる助成援助すること、早期発見、早期治療で重症化を防ぎ、医療費の抑制に繋がるのではないかと。

ジェネリック医薬品の使用促進についてです。同じ効能のジェネリック医薬品は、慢性疾患で服用されている方には、自己負担も国保の負担も低減に繋がる訳で、変更した場合、どの位安くなるか明示が必要ではないですか。

重複、頻回受診者への保健師による訪問指導で適正な受診の可能性もあり、医療費の低減に繋がると思いますが、レセプトの再審査であります。電子化され、請求

求された金額を支払っている場合があります。正確な医療費の算出化のグループピングの活用は考えているか。

月別医療費の推移、疾病別医療機関の費用額は明確になっているか。

高額医療費の動向と疾患分類は出てくるか伺います。



町民へ輪を広げる 健康づくりを

町長 人間ドックは、被保険者から要望があれば可能な限り増やしていきます。助成は国保会計として7割相当の限度額4万円です。ジェネリック医薬品をお願いカードを配布しておりますが使用率の把握はしておりません。重複、頻回受診者への保健師の訪問指導は必要だと思います。レセプトの再審査の強化は医師とのバランスが難しい事があります。月別医療費の推移と医療機関別費用額は出しており、高額医療費の動向と疾患分析も相応に実施しています。

高齢者の移動手段 地域公共交通の実施を

市川隆子議員

議員 高齢者が生き生きと活動でき、住み続けられる地域づくりのために移動の保障は重要です。住民の需要調査や計画作り、試験運行をすすめるには協議会を立ち上げなければなりません。今後どのように考えるのか伺います。

課題多いが 知恵を絞って

町長 高齢化がすすむ中、車を運転できなくなった高齢者の移動手段を確保することが問題であり、免許証の自主返納だけを促すことができません。今後、公共交通を進めるためには、課題もありますが知恵を絞って何らかの形は考えていかなければならないと考えています。

特養ホームの 増床計画は

議員 高齢化がすすむ中



グループホーム「あんしん」

増床計画支援

町長 施設希望者は多く、待機者もたくさんいます。16床増床計画は、個室

施設入所の希望者も増加するものと思います。以前の質問で町は、はまひるがお16床の増床を支援したい、という答弁でしたが、増床についての計画はあるのか伺います。

化の問題でよい結果が出ていません。

今後、16床増床計画の県との調整は町も支援していきたいと思っています。

介護報酬改定で 利用者への影響は

議員 今年4月から、介護保険法、介護報酬が改定されました。

この改定により、利用者、事業者に影響が出ていないか。生活援助で重要な利用者との会話はどのような状況か。厚労省は、利用者の意向を踏まえない時間短縮は不適切であり、これまでどおりの時間提供は可能という見解ですが、町ではどのように対応しているのか伺います。

在宅サービスに 影響

保健福祉課長 報酬改定で在宅サービスに大きな影響が出ると思われるのですが、事業者には、制度改定を十分説明して理解してもらっています。無理やり時間内に収め

るのではなく、超過分はサービス扱いの事業所もありました。

今後、親身なサービス提供につながるよう事業所に要請していきたいと思っています。

認知症高齢者と 家族への援助は

議員 在宅での認知症介護は症状が進むと24時間介護が必要となり、家族だけでは限界があります。本人への支援とともに、家族への支援も重要になります。どのように対応するのか伺います。

現在の事業を 続けていく

町長 グループホームを開設し施設入所の対応に努めています。

また、予防も必要なので地域包括支援センターなどが協力しながら積極的に推進しています。

家族会には、講座の開催、認知症サポーター養成講座も開催し支援しています。



人命を守る 防災計画を

議員 防災計画策定ではどんな災害が起きても人命を守ることを意識した対応が必要だと思いますが、防災計画の見直し時期、内容について伺います。

津波等の対策を 重点に強化

町長 津波対策の強化、地域防災力の強化に重点を置いた計画になるよう取り組んでいます。今年度中に計画の見直し作業を終えたいと考えています。



元気にプレーする皆さん

条例改正等に対する 質疑・応答

【市川隆子議員】

千葉県後期高齢者医療広域連合規約改正について

議員 住民基本台帳に登録されない外国人は医療制度が受けられるのか伺います。

住民課長 登録されていない場合は、サービスは受けられません。

【梅澤哲夫議員】

若者マイホーム事業条例改正について

議員 未来のある若者の話題は、非常によいことですが町有地になった経緯と中里地区の進行経過を伺います。

総務課長 用地は地主よりもらいうけたもので、又、中里5区画の内、4区画は契約者があります。

【河野 豊議員】

議員 若者マイホーム事業は、1年弱が経過したが中里地先に5区画の募集に5人の応募があり4区画が決まり、現在、1区画のみの建築中であり残り3区画は進んでいません。当選者の弁として条例第10条の禁止事項の

町有地無償貸付制度が、ネットとなり金融機関からの融資を受けられず、建築出来ないとのこと。これらを救済する条例改正の考えはないか。

町長 具体的にはそのような話があるかわかりませんがいろいろな議論があつて条例ができた訳であつて途中で調子が悪くなつたから変えるのはどうでしょうか。

議員 1年弱経過している不都合が出てきたのが現実であり、本事業を成功するための変更であれば変更すべきであり検討をお願いします。

【東海林東治議員】

デジタル戸別受信機購入について

議員 アナログからデジタルへの変換に伴い、難聴者に文字やランプで知らせる事が出来るのか。又、欲しい人の購入方法と単価は。

総務課長 受信中にランプがつかます。新規購入者へは募集をかけ数年で更新していきます。単価は、従来どおり15,500円の個人負担です。

議会視察研修報告

高知県黒潮町（津波が数分で1m・高さ34mのまち）

10月10日、高知県幡多郡黒潮町議会の視察を行いました。黒潮町は、太平洋（土佐湾）を望む風光明媚な町で農業と漁業の一次産業の町であり特に漁港が7港ありカツオ一本釣りは有名である。今回の視察目的は今春、内閣府の有識者検討委員会が発表した南海トラフの巨大地震による最大津波想定高が、3.4・4mと全国1位の津波高と1mの津波が数分で到達とつきつけられた町としてどのような防災対策を取組んでいるかを視察しました。



研修風景

黒潮町の防災対策の基
本は「犠牲者ゼロの防災

まちづくり」をかかげ国や県の財政支援を受けながら「避難路及び避難タワー整備事業」など様々な事業が計画されています。常識をはるかに超えるこの津波の速さと高さによる町民への不安を解消し、命を守るための防災計画の見直しや地域避難路整備や耐震事業などスピード感を持って推進し「あきらめない。揺れたら逃げる。より早く、安全なところへ」を防災思想として掲げ犠牲者ゼロのまちづくりを全力で取り組んでいることが参考になりました。



避難タワー

我が白子町でも地域にあった防災計画を早く見直し揺れたら逃げるなどの防災意識を図り、ハード面で避難路・避難タワー等整備を早急に取り組むべきである。

こんなことが、
決まりました。
**定例会 第3回
議案の内容**

**同
意**

教育委員会教育委員の
任命につき同意を求める
ことについて
教育委員会教育委員に
次の者が提案され、全員
賛成で同意されました。

氏 名
大 多 和 直 樹

住 所
白子町関966番地1

氏 名
秋 葉 寛

住 所
白子町牛込3015番地

条例の改正補正等

千葉県後期高齢者医療
連合規約の一部改正(可決)
特別職の職員で非常勤
の報酬等の条例の一部改
正(可決)
白子町手数料条例の一
部改正(可決)
若者マイホーム取得奨
励用町有地無償貸付・譲
渡条例の一部改正(可決)
白子町防災会議及び災
害対策本部条例の一部改

正(可決)

防災行政無線屋外子局
デジタル化更新工事請負
契約の締結承認(可決)
防災行政無線デジタル
戸別受信機購入契約の締
結承認(可決)
補正予算
一般会計
(158,907千円)
国保会計(81千円)、
介護保険会計
(10,094千円)、
3会計計補正予算(可決)

決算審査特別委員会設置

平成23年度一般会計外 5 特別会計歳入歳出決算認
定については、決算審査特別委員会を設置し、閉会中の
継続審査に付することに決まりました。
委員の構成は次のとおりです。

決算審査特別委員会

委員 河野 豊	委員 酒井 良	委員 今井 信	委員 北田 光	委員 大和田 之	委員 齊藤 彦	委員 今関 勝
副委員長	委員長					

町議会を傍聴しましょう。

次の定例会は12月13日の予定です。

詳しいことは、議会事務局へ。TEL 33-2169/FAX 33-4132
白子の議会についてご意見、ご感想をお寄せ下さい。

編集後記

東日本大震災の被災地
に2度目の厳しい冬がや
つて来た。今なお仮設住
宅生活者、我が家があつ
ても帰れない。帰還困難区
域、計画的避難区域の人々。
復旧復興はいつになつた
ら進むのか他人事ではない。
1日も早い復旧を願わず
にはいられない。

一方、日本列島を取り
巻く情勢は北方領土、尖
閣諸島、竹島の領有権問
題等、最大の試練にさら
されている。

国政においても政局の
不安定とともに決められ
ない政治、民主党・自民党・
公明党3党による消費税
増税法案、国民の血税で
賄う社会保障制度を真摯
に受け止めてもらいたい
ものだ。

いずれにせよ日本国再
生のためには、今こそ政
治家は力強い政治手腕を
発揮すべきである。

板倉 正道